

下北地域の飲食店での受動喫煙に関するアンケート調査報告書

(対象：飲食店)

平成29年3月

下北地域県民局地域健康福祉部保健総室（むつ保健所）

目次

1	はじめに	1
2	方法	
(1)	アンケート概要	1
(2)	アンケート内容	1
(3)	アンケートの集計、分析にあたって	1
3	結果と考察	
(1)	回答者の基本情報について	1
(2)	店長の年代は、客席の喫煙形態と関連があるか	3
(3)	店長の喫煙習慣と受動喫煙の健康への影響についての考え方には関連があるか	3
(4)	飲食店の受動喫煙対策は店長の喫煙習慣と関連があるか	3
(5)	分煙店、禁煙店が受動喫煙対策を行っている理由	4
(6)	受動喫煙対策に伴う売上変化（あるいは予想）について	4
(7)	受動喫煙対策あるいは客の喫煙に関するコストについて	5
(8)	自由喫煙店、分煙店は、今後の受動喫煙対策についてどのように考えているか	6
(9)	自由記述について	6
巻末付録 調査結果の詳細		
1	アンケート内容	7
2	アンケート結果の詳細	13

1 はじめに

下北地域住民の健康状態は厳しい状況であり、受動喫煙に関しても対策が進んでいない現状があることから、特に妊婦や子供が受動喫煙する可能性があるランチタイムに営業している管内飲食店営業者等（以下、「店長」という）に的を絞った意識調査を青森県立保健大学と共同で実施し、分析したのでその概要を報告する。

2 方法

(1) アンケート概要

- ① 対 象 ランチタイム営業している飲食店129店舗
- ② 方 法 アンケート用紙を郵送あるいは職員が直接配布し、郵送で回収
- ③ 調査期間 平成28年9月9日～9月30日
- ④ 回 答 数 77（回収率60%、有効回答76（ランチ営業行っていない店1を除く））

(2) アンケート内容

巻末付録のとおり

(3) アンケートの集計、分析にあたって

- ① 結果数値は、小数点第1位を四捨五入したので、合計が100%にならない場合がある。
- ② 本報告で使用している語句は、アンケート本文の表記を短縮、簡略化している場合がある。
- ③ χ^2 検定での期待値が5以下の項目が多数あったため、統計学的分析は実施しなかった。また、設問によってはサンプル数が極端に少ないことに留意する必要がある。
- ④ クロス集計を行った表、図の表題には【】を用いている。
- ⑤ 3の結果と考察では、『』はアンケート選択肢2つ以上を1つにまとめて分析する際に使用し、表の詳細なデータは巻末付録に掲載した。

3 結果と考察

(1) 回答者の基本情報について

回答率は60%であり、飲食店等の店長等（以下、店長とする）の年代は図1のとおりだった。

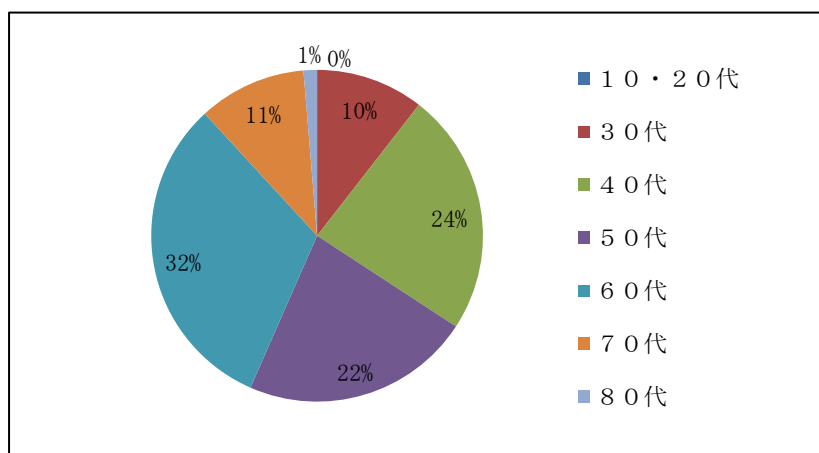


図1 店長の年代構成 n=76

店長の喫煙習慣は図2のとおりで、習慣的に吸っている者（以下、喫煙者とする）、以前吸っていたがやめた者（以下、禁煙成功者とする）、習慣的に吸っていない者（以下、禁煙者とする）は、ほぼ三分された。また、店長の年代が高くなるほど喫煙率が低くなる傾向があった。

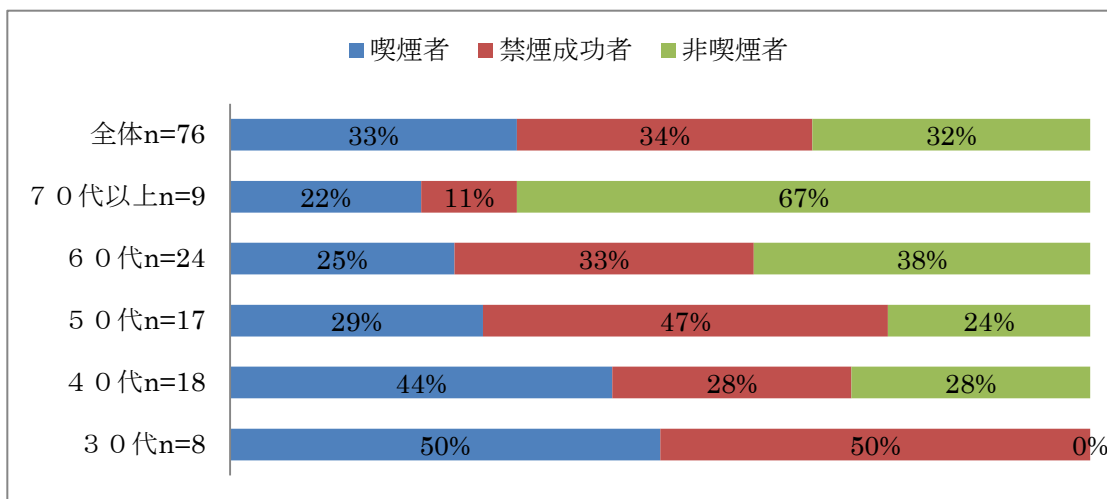


図2 【店長の年代×店長の喫煙習慣】

また、客席の喫煙形態は図3のとおりで、自由喫煙が半数、分煙が約2割、禁煙が約3割だった。

7割の飲食店では、受動喫煙がある可能性があり、下北地域の受動喫煙対策が進んでいない現状が明らかになった。

なお、本調査でいう自由喫煙店は客席の受動喫煙対策を行っていない形態、分煙店は喫煙席と禁煙席を設けている、あるいは時間帯禁煙を実施している形態、禁煙店は客席が禁煙である形態としている。

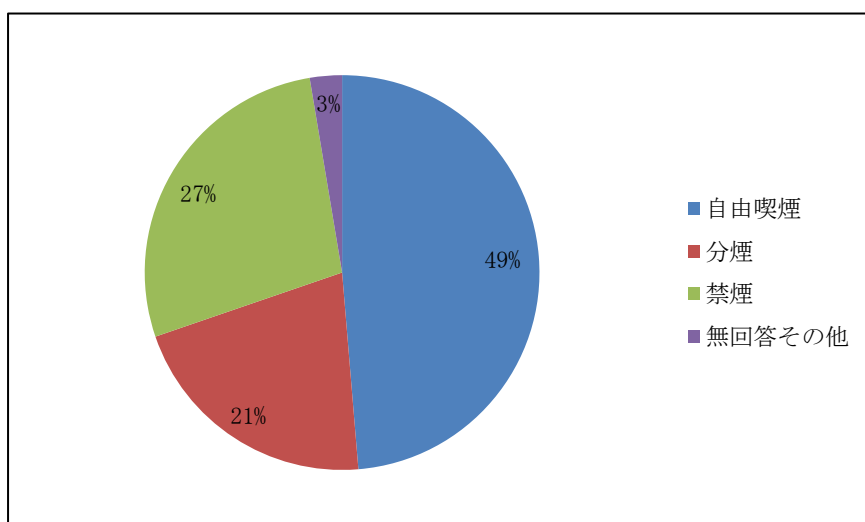


図3 客席の喫煙形態 n=76

(2) 店長の年代は、客席の喫煙形態と関連があるか

自由喫煙店の割合は年代によるばらつきが少なかった一方、分煙店は若い店長が多く、高い年代では少ない傾向があった。また、禁煙店は若い店長で少なく、高い年代の店長で多い傾向があった(図4)。前項(1)で示したとおり、若い店長ほど喫煙率は高いため、禁煙店に関しては店長の喫煙習慣と関連している可能性が示唆された。

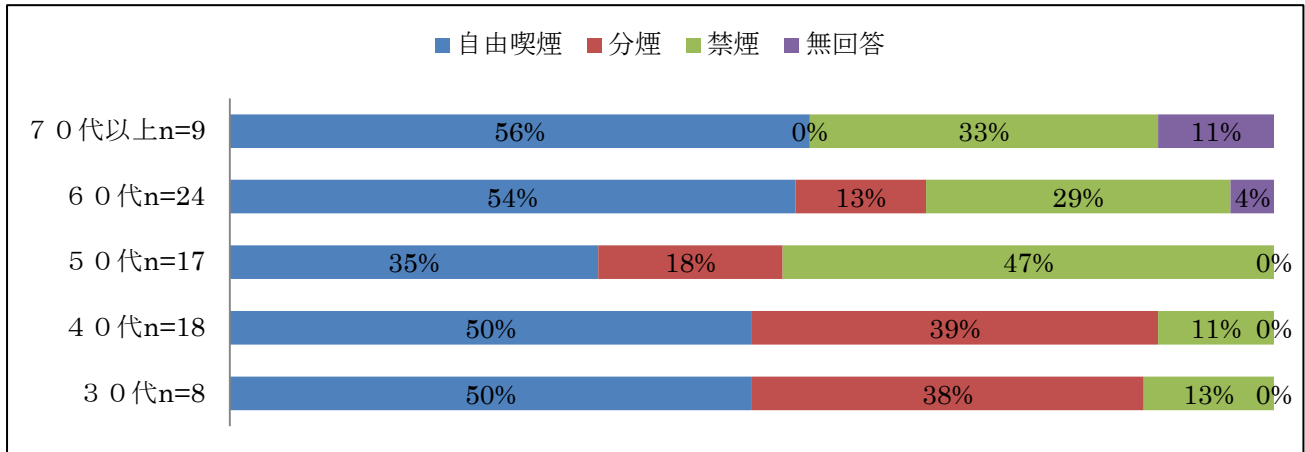


図4 【店長の年代×客席の喫煙形態】

(3) 店長の喫煙習慣と受動喫煙の健康への影響についての考え方には関連があるか

『健康への影響がある』と回答した割合は、非喫煙者、禁煙成功者、喫煙者ともに合計で7割超であった。また、禁煙成功者は「健康への影響が大いにある」の割合が58%と最も高く、『健康への影響がない』が0%であり、受動喫煙に関する意識が特に高いことが示唆された(図5)。

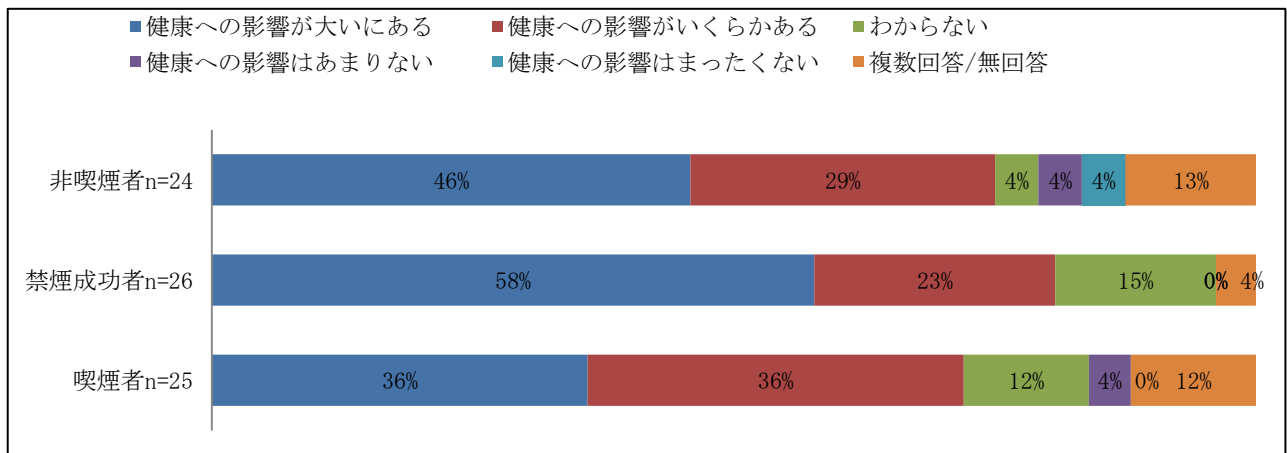


図5 【店長等の喫煙習慣×健康への影響】

(4) 飲食店の受動喫煙対策は店長の喫煙習慣と関連があるか

自由喫煙店、分煙店ともに『喫煙習慣がない』がない店長が過半数を超える62%だった一方、禁煙店では80%の店長が『喫煙習慣がない』と回答したことから、店長の喫煙習慣と喫煙形態の関連性が最も強いのは禁煙店であることが示唆された。

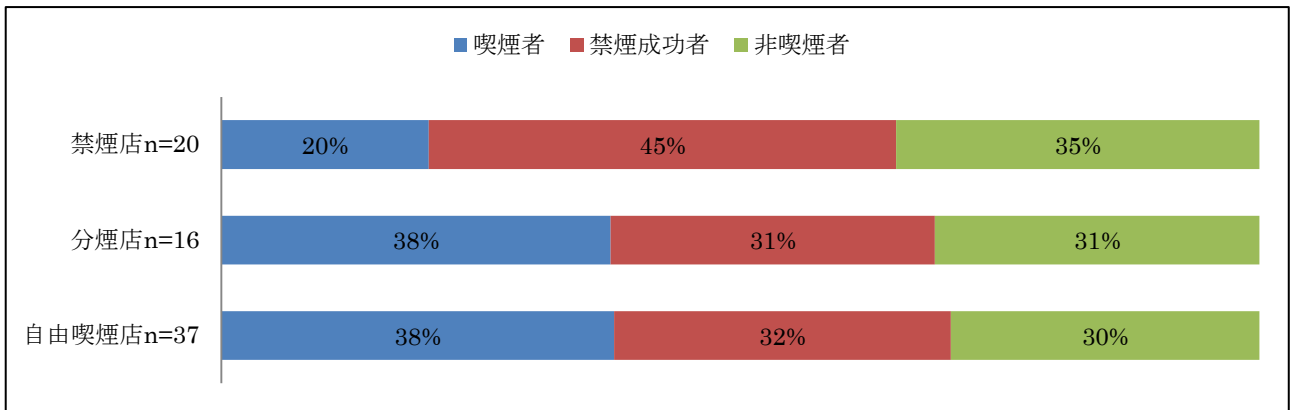


図6 【客席の喫煙形態×店長等の喫煙習慣】

(5) 分煙店、禁煙店が受動喫煙対策を行っている理由

この設問の結果を大きく3つに分類したところ、①営業上の理由（本社の方針、サービスの向上、客の要望）は分煙店、禁煙店ともに合計で過半数だったが、②営業とは直接の関係がない理由（社会の変化への対応、客の健康への配慮）がともに合計で3割弱あった。このことから、受動喫煙対策を行う営業上の理由がないとしている自由喫煙店に対しても継続的に普及啓発していくことで、動機付けできる可能性が示唆された。なお、③従業員（店長を含む）の健康保護を理由とした回答はともにかなり少数だった（図7）。

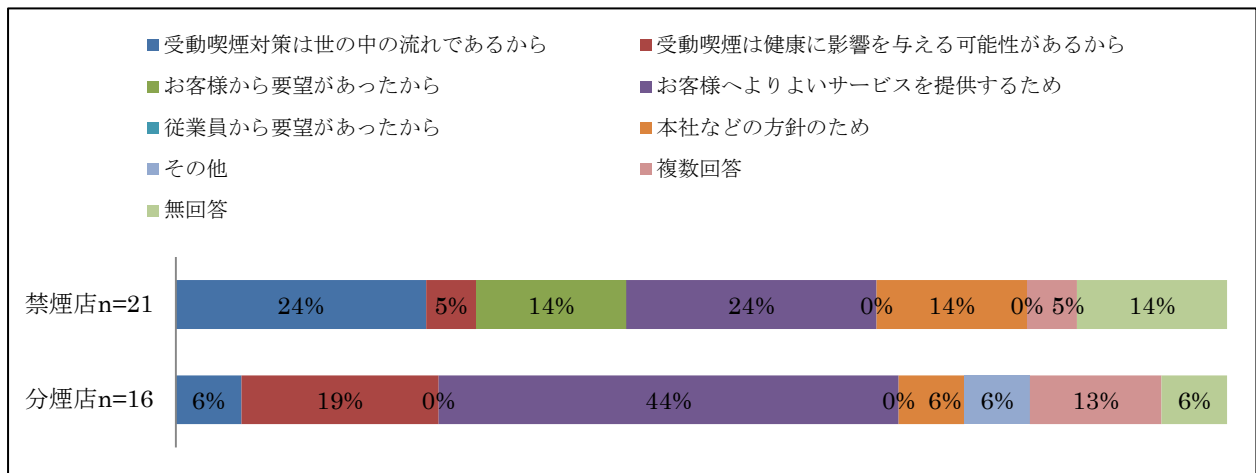


図7 【客席の喫煙形態×受動喫煙対策を行っている理由】

(6) 受動喫煙対策に伴う売上変化（あるいは予想）について

「受動喫煙対策後の売上に変化がなかった」と回答した分煙店は56%、禁煙店は85%と最も多い割合だった一方、「売り上げが減った」と回答した分煙店は6%、禁煙店は8%と少数だったことから、受動喫煙対策を進めた場合の売上減少は限定的である可能性が示唆された。なお、禁煙店については途中で禁煙化した11店舗のデータを掲載している（図8）。

自由喫煙店が禁煙化した場合、売り上げは減ると予測した割合は35%で（図8）、減少幅の予測は平均で21.7%（回答があった12店舗の数字。データは掲載せず。）だったことから、禁煙化した場合の影響を大きいと考えている店長が多く、自由記述でも店の客層（肉体労働者が多い等）によっ

て売上への影響が異なる旨の記載が複数あった。しかし、禁煙店、分煙店の回答から推測すると、そこまで影響が大きくない可能性はあると考えた。

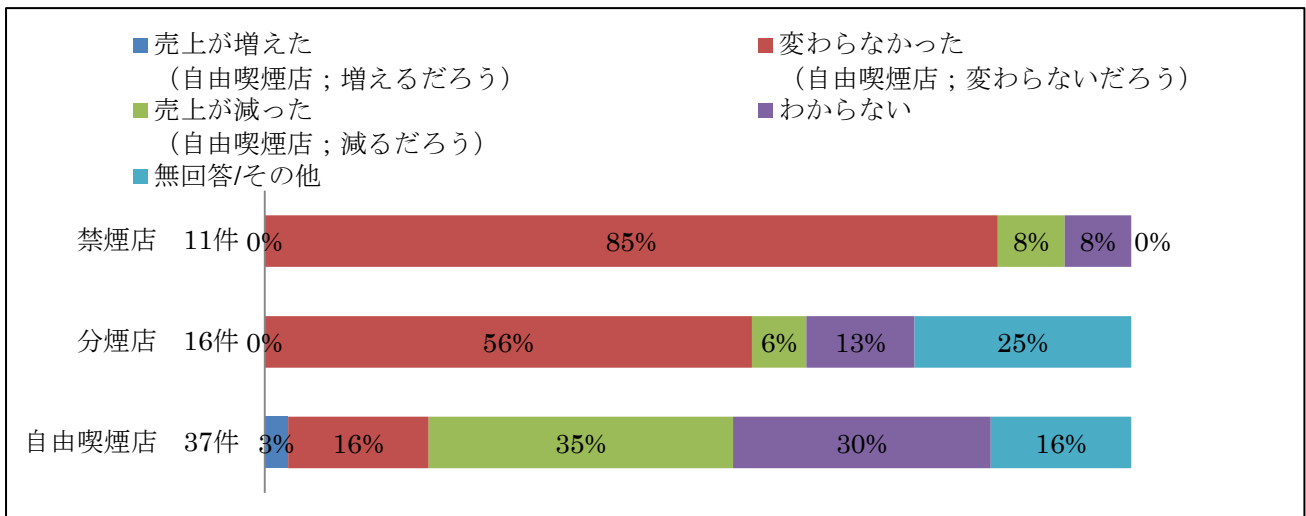


図8 【客席の喫煙形態×禁煙化による売上変化 (自由喫煙店は予想)】

(7) 受動喫煙対策あるいは客の喫煙に関するコストについて

分煙店、禁煙店ともに受動喫煙対策に関するコストが増加したと回答した割合は0%であった(図9)。しかし、分煙店については当所管内には専用空調や空気を遮断できる仕切り等の設備を導入しているような大型店舗等がかなり少ないことに留意する必要がある。

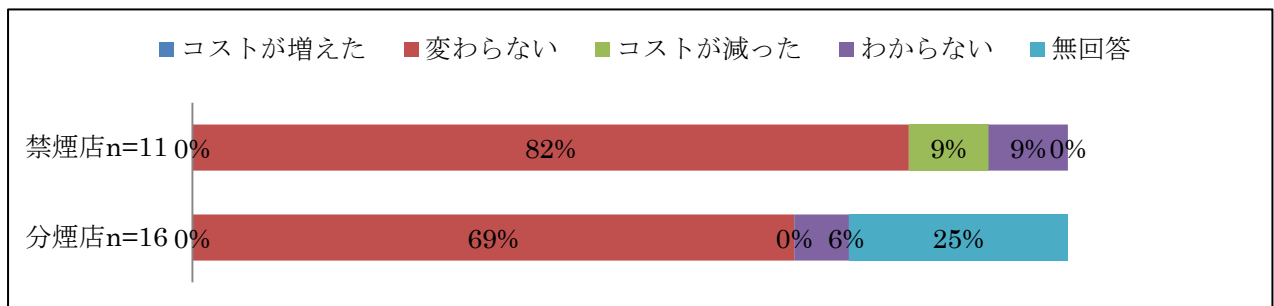


図9 【分煙店・禁煙店×受動喫煙対策に関するコスト】

自由喫煙店では、客の喫煙に伴うコスト(例: 灰皿交換の人的費用、タバコのヤニによる内装の汚れ)を試算している店舗はなかった(図10)が、ワークショップ等では自由喫煙を続けることによる損失は少なくない旨の話が飲食店営業者からあったことから、今後も喫煙に関する損失についてのデータを収集し、普及啓発を図る必要があると考えた。

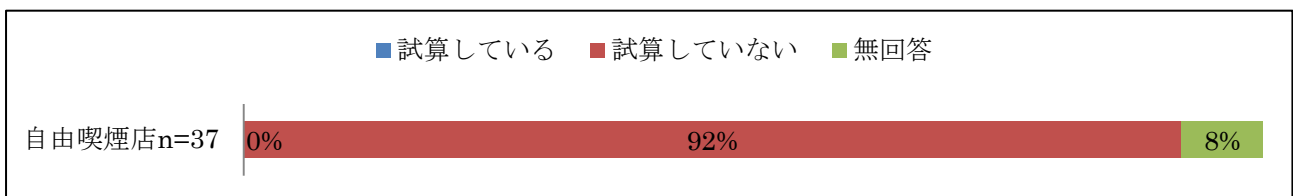


図10 【自由喫煙店×喫煙に関するコスト】

(8) 自由喫煙店、分煙店は、今後の受動喫煙対策についてどのように考えているか。

『受動喫煙対策の必要性を感じている』と回答したのは自由喫煙店で合計81%、分煙店で合計93%といずれも高い割合を示したが、「受動喫煙対策に向けて誰かに話したことはあるが、具体的計画は未定である」は自由喫煙店が35%、分煙店が56%、「受動喫煙対策に向けて具体的な計画を立てている」は自由喫煙店が5%、分煙店が6%と段階を追うごとに減少していた。このことから、受動喫煙対策について考えていない店は少数だが、具体的内容はこれからという店が多いことが示唆された(図11)。

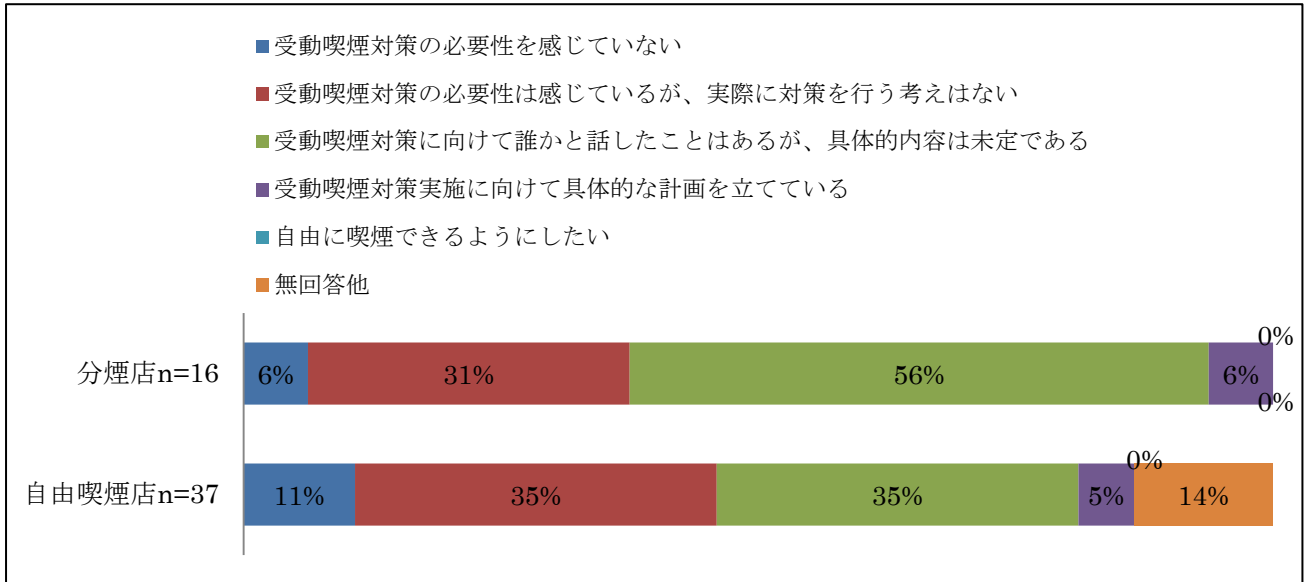


図11 【自由喫煙店・分煙店×受動喫煙対策の今後の方針】

(9) 自由記述について

自由記述では20店舗が回答し、主な意見は表1のとおりだった(全文は巻末付録の表13のとおり)。

表1 自由記述の主な意見(複数回答有)

	禁煙店	分煙店	自由喫煙店
法令で規制してほしい		3	1
喫煙者のマナーについて	2		
現在行っている受動喫煙対策を実施した感想等	2		
受動喫煙対策についての工夫について		5	1
禁煙にしない理由について		1	4
受動喫煙対策への助成金の要望			1
その他		1	4

巻末付録

1 アンケート内容

飲食店向けアンケート

回答のしかた

- 1 このアンケートは店長、支配人等の責任ある立場の方がお答えください。
- 2 アンケートの問いに対し、あてはまる答え（アルファベット）を○で囲んでください。
- 3 ランチ営業（概ね 11:30～14:00）に関してお答えください。
- 4 ランチ営業していないお店につきましては、こちらにチェックマークをつけて返送してくださるようお願いいたします。→□

【はじめに】

- 1 あなたの年齢を教えてください。
 - A 10・20代
 - B 30代
 - C 40代
 - D 50代
 - E 60代
 - F 70代
 - G 80歳以上
- 2 あなたはタバコを習慣的に吸いますか？
 - A 習慣的に吸っている
 - B 以前吸っていたがやめた
 - C 習慣的に吸ったことがない
- 3 あなたのお店は、ランチタイムにお客様が喫煙できますか？該当するものを選び、指定のページに進んでください。
 - A 自由喫煙（※1）→2ページ（裏面）にお進みください。
 - B 分煙（※2）→5ページにお進みください。
 - C 禁煙（※3）→7ページにお進みください。

※このアンケートでの言葉の説明

1 自由喫煙

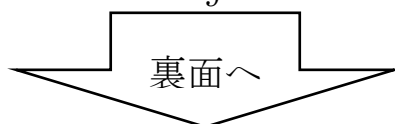
ランチタイムに全ての席で喫煙できるお店のこと。普段客席に灰皿を置いてなくても、お客様が希望すればどの席でも喫煙できる店は「自由喫煙」としています。

2 分煙

禁煙席があるお店のこと。禁煙席と喫煙席との間が壁等で分けられておらず、場合によってはタバコの煙が禁煙席に流れる場合があっても「分煙」としています。

3 禁煙

ランチタイムだけ禁煙の店、店内禁煙で外に喫煙所がある店も「禁煙」としています。



【お客様が自由に喫煙できる店は以下の質問にお答えください】

【問 1】 あなたのお店における今後の受動喫煙対策について、現時点での考えにもっとも近いものを教えてください。(受動喫煙対策として、「禁煙席と喫煙席を分ける」「禁煙時間帯を設定する」「店内禁煙にする」などをイメージしてください)

- A 受動喫煙対策の必要性を感じていない (→問 2 へ)
- B 受動喫煙対策の必要性は感じているが、実際に対策を行う考えはない (→問 2 へ)
- C 受動喫煙対策に向けて誰かと話したことはあるが、具体的内容は未定である (→問 2 へ)
- D 受動喫煙対策実施に向けて具体的な計画を立てている (→問 3 へ)

【問 2】 (問 1 で A, B, C とお答えした方に伺います) 受動喫煙対策を進めにくい理由がありましたら教えてください。(複数回答可)

- A 今までこのスタイルでやってきたから
- B 利用客や利益が減少する可能性があるから
- C ほかの店でも受動喫煙対策を進めていないから
- D 喫煙は個人の自由だから
- E 法律や条例で禁止されていないから
- F 喫煙コーナーや分煙設備を設置する費用やスペースの確保が難しいから
- G 喫煙はマナーの問題だから
- H 本社や施設管理者との調整が難しいから
- I 受動喫煙はそんなに大騒ぎするような問題ではないと思っているから
- J お客様とのトラブルが想定されるから
- K お客様や従業員からの要望がないから
- L 特になし
- M その他 ()

【問 3】 仮にあなたのお店が禁煙化すると、売上はどのようにと予想されますか？

- A 売上は増える⇒増加割合は平均 () %くらい
- B 変わらない
- C 売上は減る⇒減少割合は平均 () %くらい
- D わからない

【問4】現在、お客様の喫煙によって、お店にはどれくらいのコスト※がかかっているか試算しているでしょうか？

- A 試算している（月額約_____円）
- B 試算していない

※喫煙にかかるコストの例

灰皿の清掃に要する人件費、空気清浄器の経費等

【問5】あなたは受動喫煙の健康への影響について、どのように思いますか？ (1つ選択)

- A 健康への影響が大いにある
- B 健康への影響がいくらかある
- C わからない
- D 健康への影響はあまりない
- E 健康への影響はまったくない

【問6】お客様の喫煙や行政の受動喫煙対策に関して、意見がありましたら自由にお書きください。

アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。

【最後に】差支えなければ、あなたのお店の名前を教えてください。

店 名 (_____)

【分煙の店は以下の質問にお答えください】

【問 1】 あなたのお店では分煙をどのように行っていますか？

- A 喫煙コーナーと禁煙コーナーを壁で分け、吸煙器を置くなどにより、ほかの人へ煙が行かない配慮をしている
- B 喫煙コーナーと禁煙コーナーを分けているが、間に壁がない
- C その他 ()

【問 2】 あなたのお店が分煙を行っている理由は何でしょうか？ (1つ選択)

- A 受動喫煙対策は世の中の流れであるから
- B 受動喫煙対策は健康に影響を与える可能性があるから
- C お客様から要望があったから
- D お客様へよりよいサービスを提供するため
- E 従業員から要望があったから
- F 本社などの方針のため
- G その他 ()

【問 3】 分煙化に伴う、あなたのお店の売上、コストについて教えてください。(オープン当初から分煙のお店は、回答する必要ありません)

(1) 売上

- A 売上が増えた⇒増加割合は平均 () %くらい
- B 変わらない
- C 売上が減った⇒減少割合は平均 () %くらい
- D わからない

(2) コスト※

- A コストが増えた(何に?) どれくらい?月額約 () 円
- B 変わらない
- C コストが減った(何に?) どれくらい?月額約 () 円
- D わからない

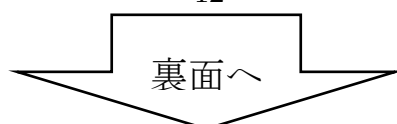
(3) その他のメリット・デメリット

()

※ コスト増加例→空気清浄器、壁設置 コスト減少例→灰皿洗浄の人的費、清掃頻度減少

【問 4】 あなたのお店の受動喫煙対策について、今後の方針を教えてください (1つ選択)。

- A 禁煙化する必要性を感じていない (→問 5 へ)
- B 禁煙化する必要性を感じているが、実際に対策を行う考えはない (→問 5 へ)
- C 禁煙化に向けて誰かと話したことはあるが、具体的内容は未定である (→問 5 へ)
- D 禁煙化に向けて具体的な計画を立てている (→問 6 へ)
- E 自由に喫煙できるようにしたい (→問 5 へ)



【禁煙のお店は以下の質問にお答えください】

【問1】 あなたのお店はいつから禁煙していますか？

- A オープンしたときから (昭和・平成 年頃から)
- B 途中から (昭和・平成 年頃から)

【問2】 あなたのお店が受動喫煙対策を実施している理由は何でしょうか？ (1つ選択)

- A 受動喫煙対策は世の中の流れであるから
- B 受動喫煙対策は健康に影響を与える可能性があるから
- C お客様から要望があったから
- D お客様へよりよいサービスを提供するため
- E 従業員から要望があったから
- F 本社などの方針のため
- G その他 ()

【問3】 禁煙の結果、あなたのお店の売上、コストはどのように変わったでしょうか？

(オープン当初から禁煙のお店は、回答する必要ありません)

(1) 売上

- A 売上が増えた⇒増加割合は平均 () %くらい
- B 変わらない
- C 売上が減った⇒減少割合は平均 () %くらい
- D わからない

(2) コスト※

- A コストが増えた(何に?) どれくらい?月額約 (円)
- B 変わらない
- C コストが減った(何に?) どれくらい?月額約 (円)
- D わからない

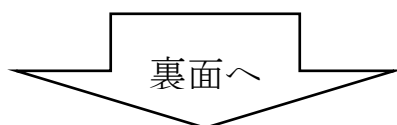
(3) その他のメリット・デメリット

()

※ コスト増加例→禁煙に伴う壁紙リフォーム コスト減少例→灰皿洗浄の人件費、清掃頻度減少等

【問4】 あなたは受動喫煙の健康への影響について、どう思いますか？ (1つ選択)

- A 健康への影響が大いにある
- B 健康への影響がいくらかある
- C わからない
- D 健康への影響はあまりない
- E 健康への影響はまったくない



【問5】お客様の喫煙や行政の受動喫煙対策に関して、御意見等ありましたら自由にお書きください

アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。

【最後に】差支えなければ、あなたのお店の名前を教えてください。

店名（ ）

2 アンケート結果の詳細

表2 店長の年代構成（単位：人数）

10・20代	0
30代	8
40代	18
50代	17
60代	24
70代	8
80代以上	1
合計	76

表3 【店長の喫煙習慣×年代】（単位：人数）

	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
喫煙者	4	8	5	6	2	25
禁煙成功者	4	5	8	8	1	26
非喫煙者		5	4	9	6	24
その他	1					1

表4 【店長の喫煙習慣×客席の喫煙形態】(単位：人数)

	自由喫煙	分煙	禁煙	無回答	合計
習慣的に吸っている	14	6	4	1	25
以前吸っていた	12	5	9	0	26
吸ったことがない	11	5	7	1	24
合計	37	16	20	2	75

表5 【客席の喫煙形態×店長の年代】(単位：人数)

	30代	40代	50代	60代	70代	合計
自由喫煙	4	9	6	13	5	37
分煙	3	7	3	3	0	16
禁煙	1	2	8	7	3	21
無回答	0	0	0	1	1	2
合計	8	18	17	24	9	76

表6 【店長等の喫煙習慣×健康への影響】(単位：人数)

	健康への影響 が大いにある	健康への影響 がいくらかあ る	わからな い	健康への影 響はあまり ない	健康への影響 はまったくな い	複数回答 /無回答	合計
非喫煙者	11	7	1	1	1	3	24
禁煙成功者	15	6	4	0	0	1	26
喫煙者	9	9	3	1	0	3	25
合計	35	22	8	2	1	7	75

表7 【客席の喫煙形態×店長等の喫煙習慣】(単位：人数)

	喫煙者	禁煙成功者	非喫煙者	その他	合計
禁煙店	4	9	7	1	21
分煙店	6	5	5	0	16
自由喫煙店	14	12	11	0	37
無回答	1	0	1	0	2
合計	25	26	24	1	76

表 8 【客席の喫煙形態×受動喫煙対策を行っている理由】（単位：人数）

	受動喫煙対策は世の中の流れであるから	受動喫煙対策は健康に影響を与える可能性があるから	お客様から要望があったから	お客様へよりよいサービスを提供するため	従業員から要望があったから	本社などの方針のため	その他	複数回答	無回答	合計
禁煙店	5	1	3	5	0	3	0	1	3	21
分煙店	1	3	0	7	0	1	1	2	1	16
合計	6	4	3	12	0	4	1	3	4	37

表 9 【客席の喫煙形態×禁煙化、分煙化、喫煙化による売上変化】（単位：人数）

	売上は増える	変わらない	売上は減る	わからない	無回答/その他	合計
禁煙店	0	9	1	1	0	11
分煙店	0	9	1	2	4	16
自由喫煙店	1	6	13	11	6	37
合計	1	26	15	14	18	74

表 10 【分煙店・禁煙店×受動喫煙対策に関するコスト】（単位：人数）

	コストが増えた	変わらない	コストが減った	わからない	無回答	合計
禁煙店	0	9	1	1	0	11
分煙店	0	11	0	1	4	16
合計	0	22	1	2	12	37

表 11 【自由喫煙店×喫煙に関するコスト】（単位：人数）

	試算している	試算していない	無回答	合計
自由喫煙店	0	34	3	37

表 1 2 【自由喫煙店・分煙店×受動喫煙対策の今後の方針】（単位：人数）

	受動喫煙対策の必要性を感じていない	受動喫煙対策の必要性は感じているが、実際に対策を行う考えはない	受動喫煙対策に向けて誰かと話したことはあるが、具体的内容は未定である	受動喫煙対策実施に向けて具体的な計画を立てている	自由に喫煙できるようにしたい	無回答	合計
						他	
分煙店	1	5	9	1	0	0	16
自由喫煙店	4	13	13	2		5	37
合計	4	18	22	3	0	5	53

表 1 3 自由記述欄（全部）

喫煙形態	内容
分煙	法を厳しくしない限り減少しないと思います。
自由喫煙	タバコの煙なのか肉の焼いた煙か分からないから。
自由喫煙	喫煙をしている立場から言えば健康には良くないと思っけていてもなかなかやめれないのが現状です。それでも時と場合を考えて本数を減らしていかたいと思っています。
自由喫煙	1. 国、県、市町村のたばこ税依存の財政構造に相反する健康対策としての禁煙行政 2. JT の新商品開発と全銘柄の販売促進 3. 葉たばこ生産者への農政と葉たばこ加工業者への行政対応 以上の矛盾する行政側の禁煙者の対する説明責任の欠如 ※これが改革策としては麻薬程でなくてもせめて罰則規定を盛り込んだ法規制無くしては喫煙者への説得力は皆無に等しい。
禁煙	タバコを吸う人は外で吸う。一切はこの事のみです。喫煙者の為非喫煙者が受動喫煙（よりがんのリスクが高いと言われる）になるのは理に合わないと思います。
分煙	それぞれ個室、半個室になっているので煙はいかない
	6. 本当は全面禁煙にしたいがむつ市は喫煙者が多いので仕方なく分煙 たばこがなければ良い。1つ千円くらいにしたら？害があるのに売らないでほしい。
禁煙	禁煙をはじめたころは入口で禁煙になったのを知って帰られるお客様もいましたが結果的に小さいお子様も入りやすくなったように思うので禁煙にしてよかったです。
分煙	体には影響があると思うのでなるべく店内に煙がまわらない様になっている。換気扇のそばでお願いしている。
自由喫煙	自然の流れで良い（いずれ喫煙はなくなると思うから）

自由喫煙	一度禁煙したことがあるのですがお客様が減り断念した経験があります。できれば法律で禁止していただければ本当に助かります。
自由喫煙	分煙にする設備の助成金をお願いします。
分煙	店の作りがエリアで分けれるので分煙化しやすかった。
自由喫煙	問1に関連して本店では外に煙缶を置いているので店内での喫煙が若干減少したように思う。
自由喫煙	現在たばこを吸う客の方が多い
分煙	1階席と2階席で分けている
	すべての飲食店が禁煙になれば良いと思う
自由喫煙	これからは自然環境な人工物の環境がより一層厳しく問われる時代になって行くと思われます。それに従い努力してまいります。
分煙	喫煙コーナーを部屋にしている
	むつ市は女性の喫煙も多いと思うので少しは減っているかも
禁煙	<p>当社は直売所と併設して食堂を経営しているが、行政の受動喫煙対策に同調して、4年位前から完全に禁煙としている。当初は喫煙者の方から苦情もあったが、今では女性客や子ども達の来客も増加し喜んで頂いている。</p> <p>また事務所並びに工場等については、現在分煙方式として喫煙場所を洗面所へ設置し、事務所、工場からは完全に分離して行っている。</p> <p>現在ではほとんどの工場で受動喫煙対策が進んでいると思いますが、問題は喫煙者のマナー、モラルが必要であると思われる。</p> <p>私も喫煙者の一人として携帯用灰皿を常に持ち歩いている。</p>
自由喫煙	喫煙者本人の心が変わらないと難しい。昭和45年から営業して居ますが其の頃からと今現在とでは、60～80%位喫煙者が少なくなっている様に思います。
自由喫煙	当店は現場作業員や漁師など肉体労働の方が多く、禁煙にするとそれらの方の足が遠のく可能性がある。しかし、休祭日など家族客が多くなる時期には禁煙をお願いする場合もある。